



▼南科実中生の成果が光った科学コンクール、トロフィーを手にした戴旭璋校長(前列右から二人目)と指導教員たち(2010.5.7)

教育界の新たな希望

国立南科国際実験高等学校（以下、南科実中と略称）は2010学年度、小学部42クラス、中学部24クラス、高校部9クラス、バイリンガル部12クラス合計87クラスあり、2329人の生徒が在籍しています。2010学年度、2008学年度に設置された高校部への第3期生入学を以って、南科実中には小中高の全学年が揃いました。設備面では、2010年に竣工した高校部校舎が科学教育重視の理念に基づいて万全の教育設備が整えられただけでなく、環境にやさしいエコ建築としてダイヤモンド級「グリーン建築」の称号を与えられた全国初の学校になりました。教育面では、自ら学び取る探究心を尊重して多角的な知識と能力を育む以外に、国際交流にも積極的に取り組んでおり、生徒たちを知識の森や世界の奥深さを探る旅へと導いて南科の将来を担う人材に育て上げる教育が行われています。

南科実中の人気の高さは入試の合格ラインの動向からもうかがえます。高校部の合格最低ラインは2008学年度に260点(312点満点)だったのが2009学年度には377点(412点満点)、2010年には393点(412点満点)に達するなど、一気に台南学区で第2の難関校となりました。このように、たくさんの子供たちが南科実中の将来性に魅かれ、南科実中への入学を熱望するようになっているのです。



▼南科実中が学校建築では全国初となるダイヤモンド級「グリーン建築」認定を取得

南科実中高校部校舎が完成、 ダイヤモンド級グリーン建築が 英才を育てる

南科実中高校部では、行政教学ビル2棟、図書情報ビル1棟、体育館1棟、職員・学生宿舎1棟のほか、屋外設備として300メートルトラックの運動場、バスケットボールコート3、バレーボールコート4、テニスコート2、景観歩道など一連の新築工事が完了し、11月17日に落成式が行われました。この第1期工事分は8月にダイヤモンド級「グリーン建築」の認定を受け、第2期工事分もまたダイヤモンド級「グリーン建築」候補に挙げられています。学校施設に対する「グリーン建築」認定は全国でも初めての快挙です。

多元教育で想像力を育む 各種コンテストでも堂々の実績

「科学」を教育理念に掲げる南科実中は、実験・実習を通じた科学の基礎固めに力を入れているほか、各種コンテストへの参加も積極的に奨励しており、進学実績の高さだけでなく、最近では色々なコンテストでの活躍も目立つようになってきました。

台南科学コンクールでホームラン 全国科学コンクールで栄冠を手に

5月6日に2010年台南地区科学コンクールの中でも、第50回台南県科学コンクールでは中学部から3組が入賞して県内トップに立ちました。そのうち特別優秀賞の2組は県代表として全国科学コンクールに参加、もう1組は佳作でした。そして、小学部も1組がチームワーク賞を獲得、5月4日に行われた台南区科学コンクールに高校部は出展した4組全てが佳作に入選するなど、小学部から高校部まで計8組、32名が受賞しました。

その後、曾智偉先生と許淑芬先生の指導による「暗証番号式チェーンロック——ラテン超方格による完全制御の研究」は台南県代表として7月に行われた全国科学コンクールに出場し、中学生数学の部で第1位に輝きました。8月5日に中央研究院を見学した際には、総統府を訪問して馬総統から激励の言葉をかけてもらう一幕もありました。

科学コンテストでアイデア発揮

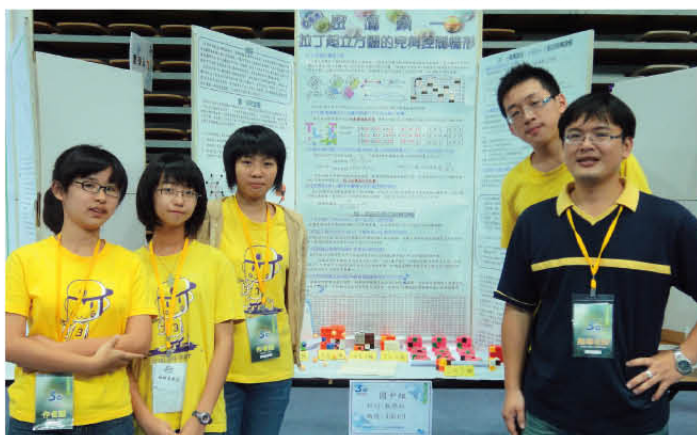
科学コンクール以外にも、「2010遠哲科学コンテスト南部大会」では蔡汶鴻先生率いる高校部一年生のチームが風船ホバークラフトで最優秀アイデア賞、また、同じく蔡汶鴻先生の指導で「2010 U19全国創意発明コンテスト」に参加した高校部三年生の呉承軒君が佳作に入賞しました。

英語も一番 全国英単語大会で第一位の荣誉

国際競争力を付けさせるため日頃から徹底させている「読む、聞く、話す、書く」の訓練が実を結び、「2010年第6回全国英単語大会」でもまた優秀な成績を収めることができました。全国から5000名余りが参加する大激戦でしたが、南科実中からは小・中・高校部の計17名が上位300名に入って決勝大会への切符を獲得。全国大会でも奮戦し、小学部が団体の部で全国第3位、バイリンガル部の林育辰さんが高校部で全国第3位、呉承軒さんが小学部で優秀賞、袁菜さんも小学部で全国第1位という目覚ましい成果を残しました。



▼大人気の南科実中中学部抽籤に臨む子供たち(2010.5.15)



▼全国科学コンテストに出展した南科実中生と指導教員の曾智偉先生(右)が作品の前で(2010.7.29)



▼南科実中高校部が科学コンテストに初出展、参加した4組全てが受賞(2010.5.4)



▼2010全国英単語大会小学部で第1位に輝いた南科実中生の袁菜(右から二人目)と指導教員獎を受賞した張揚暉先生(左)(2010.10.2)



▼カナダ・UBC大学のサマーキャンプにて南科実中吹奏楽団が世界各国の子供たちと共演(2010.7.17)



▼南科実中吹奏楽団が樹谷音楽ホールで「サーカス団の一日」コンサートを開催(2010.5.19)

音楽抜群 音楽コンクールでもいい成績を獲った

人文芸術分野では、2010年台南県音楽コンクールに出場して2年連続となる優勝を勝ち取った南科実中・吹奏楽団の活躍に言及しなければなりません。中学部吹奏楽団による管楽五重奏が優等第1位、小学部吹奏楽団が特優第1位を獲得したほか、合唱の部や個人の部でも入賞を果たしました。これは運などではなく、日頃のたゆまぬ努力が生んだ栄誉なのです。

この小さな音楽家たちがコンクールの大舞台で緊張しないように、吹奏楽団はコンクール前の5月19日に「サーカス団の一日」と題したコンサートを開催。これは南科実中・吹奏楽団結成以来、初めての本格的なコンサートでした。南科実中中学部、小学部の吹奏楽団のほか、国立台北芸術大学吹奏楽団、カナダ・ブリティッシュコロンビア(UBC)大学のBerinbaum教授も招いて行われたコンサートは拍手喝采の大成功を収めるとともに、後日、吹奏楽団のコンクールでの堂々とした演奏にもつながったのです。



▼南科実中と日本神戸科学技術高校の交流(2010.4.19)

友情を胸に世界へ羽ばたく

高校部が国際教育旅行で日本を訪問

南科実中は生徒たちの国際的視野を広げるために、高校部では毎年国際交流の機会を作っています。4月18日から23日には日本の神戸科学技術高校と大阪泉北高校を訪問しました。双方の生徒たちは英語に日本語、そしてボディランゲージという世界共通語を駆使して交流を始めました。そして、この「小さな外交官」たちが一生懸命練習した中国語と日本語の歌を披露すると、日本の高校生たちも大喝采で場を盛り上げました。最初のぎこちない名刺交換に始まった日台交流も、食事会に入る頃にはすっかり打ち解けた友好ムードに包まれていました。日本の高校生の自主性や礼儀正しさ、気配り、細やかさには南科実中の生徒たちも深い感銘を受けたようです。

吹奏楽団がUBC大学の夏季音楽キャンプに参加

日本の姉妹校との交流以外にも、2010年の夏休みには南科実中吹奏楽団の団員27名がカナダ・UBC大学で行われた夏季音楽キャンプに参加し、世界各地からやってきた子供たちと交流を深めました。これは音楽を学ぶだけでなく、英語力を磨いたり異文化を体験したりするには絶好の機会でした。南科実中の子供たちはキャンプで世界各国からきた子供たちと一緒に様々な曲風の音楽を演奏したほか、バンクーバー随一のコンサートホールであるChan Centreの舞台上に立って「望春風」「丟丢銅仔」「福爾摩沙進行曲」など台湾の代表的な曲を演奏し、熱烈的な拍手を浴びました。



▼南科実中高校部の生徒が日本泉北高校を訪問、書道の授業を見学(2010.4.21)



▼南科実中高校部の生徒が日本泉北高校で茶道を見学(2010.4.21)



▼UBC大学の音楽サマーキャンプに参加した南科実中吹奏楽団 楽しい屋外活動(2010.7.16)